

光洋サーモシステム株式会社

ご挨拶



取締役社長

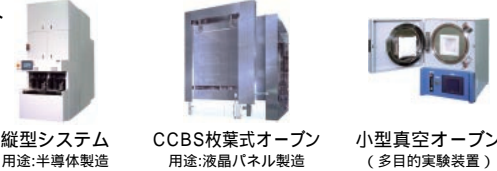
梶 宗道 郎

今、地球の温暖化はグリーンランドの氷を溶かし始めています。その原因は先進国が排出するCO₂等の温室効果ガスだと考えられております。当社は創業以来、熱処理装置の製造・販売をさせていただいておりますが、当社製品もCO₂発生要因の電力を多く消費する製品です。当社では重要な環境問題の一つとして地球温暖化抑制への参画を省エネ製品の開発 提供で進めてまいりますので、今後とも皆様のご指導、ご支援をいただきますよう、よろしく、お願い申し上げます。

会社概要

商号	光洋サーモシステム株式会社
創立	1967年(昭和42年)7月19日
本社	奈良県天理市嘉幡町229番地 TEL 0743-64-0981 URL http://www.koyo-thermos.co.jp/
資本金	4億5千万円
売上金	2005年度:215億1,000万円 2004年度:198億5,000万円
主要事業	金属用熱処理炉、半導体・電子部品・セラミックス製造用熱処理装置、液晶・プラズマ表示装置用熱処理装置 他
従業員数	399名
事業所	営業拠点:奈良(本社)、東京、群馬、愛知、静岡、福岡、香川 生産拠点:本社工場(天理市)、橿原工場(橿原市) 海外現地法人:4社(中国、台湾、韓国、タイ)

製品紹介



縦型システム
用途:半導体製造

CCBS枚葉式オープン
用途:液晶パネル製造

小型真空オープン
(多目的実験装置)

環境データ

項目	公的規制値	自主基準値	実績
	水質		
BOD	1500	750	130
SS	1500	750	86
pH	5.8~8.6	6.0~8.0	7.2
大気			
NOx	180	100	64
SOx	180	100	54
ばいじん	0.2	0.1	0.004
騒音			
朝	60	60	46.2~57.9
昼	65	65	50.2~59.8
夕	60	60	44.3~57.5
振動			
昼	65	65	30~40
夜	60	60	30~34



毎年環境月間の6月には従業員全員で工場周辺の美化運動を実施します。

水質は下水道の水質検査結果です。(特定施設無し)
【単位】BOD・SS(mg/l)、NOx(ppm)、SOx(m³N/h)、ばいじん(g/m³N)、騒音・振動(dB)

環境マネジメントシステム

環境目的	パフォーマンス指標(中期目標)	2005年度目標	2005年度実績	評価	主な取り組み	
環境設計	CO ₂ 発生低減を中心として環境に配慮した商品の提供	'08年度末迄に環境影響負荷値を40%改善した商品の開発・市場投入(基準:'02年の特性)	環境影響負荷値を30%改善した商品の開発・市場投入(基準:'02年の特性)	改善率30%	<p>【対象商品】CMTヒータの開発 KCF浸炭炉 横型拡散炉 PDP連続焼成装置 ワイヤー搬送式熱処理装置</p> <p>【改善要素と目標値】消費電力 30%改善 装置重量 30%改善</p> <p>ワイヤー搬送式熱処理装置</p> <p>目標値(改善率) 03:10, 04:20, 05:30, 06:35</p> <p>商品の環境効率改善 5:ワイヤー搬送式熱処理装置 43.5 4:PDP連続焼成装置 30.4 3:横型拡散炉 30 2:KCF浸炭炉 17.8 1:CMTヒータ 32.2 2005年度 目標ライン</p>	
省エネ	消費エネルギー削減	(1)都市ガスの消費量削減(ファイバー投入量比) (2)ガソリンの使用量削減 (3)電力の使用量削減(維持電力の消費(積算電力量計測分)) ヒーター工場での電力消費(ファイバー投入量比)	'08年度の都市ガス消費率を0.924kg/kgFin以下 '08年度のガソリン消費量を346ℓ/億円以下 '08年度の維持電力消費量を8.12kwh/億円・年以下 '08年度の電力消費量を3.77kwh/kgFin以下	0.981kg/kgFin投入量以下 420.9ℓ/億円以下 9.83kwh/億円・年以下 2.73kwh/kgFin	0.722kg/kgFin 389.2ℓ/億円 9.25kwh/億円・年 2.73kwh/kgFin	<p>ヒーター乾燥炉の取出し時間管理で昇温熱量を節約</p> <p>業務用車にハイブリッドカーを採用 アイドリングストップ運動の定着</p> <p>省エネ型蛍光灯、水銀灯等の採用</p> <p>ダミー蛍光灯の採用 自動販売機の設置台数削減</p> <p>業務を平準化し、やり終いの徹底で、工場の効率的稼働</p> <p>ヒーター乾燥炉の取出し風景</p> <p>維持電力消費量 03:14.0, 04:10.0, 05:8.0, 06:7.0 (kWh/億円) 目標 実績</p> <p>ガソリン消費量 03:700, 04:500, 05:400, 06:300 (リットル/億円) 目標 実績</p>
省資源	資源の有効活用 環境負荷物質の低減	(1)コピー用紙の使用量削減 (2)エタノールの使用量削減 対象物質: キシレン トルエン 酢酸ブチル	'08年度のコピー用紙使用量をA4換算で12.93千枚/億円・年以下 '05年度のエタノールの使用量を2.55kg/億円以下 '08年度の対象物質の総使用量を9.4kg/億円・年以下	コピー用紙の使用量をA4換算で16.78千枚/億円・年以下 エタノールの使用量を2.55kg/億円以下 対象物質の総使用量を16.73kg/億円・年以下	15.5千枚/億円・年 2.25kg/億円 10.36kg/億円・年	<p>全部門で裏紙活用の定着 手配FAXを電子データ化取説のCD-R化の推進</p> <p>不使用時の容器密閉蓋の実施・確認 二度拭きの低減</p> <p>低含有量塗料への切り替え 効率的な塗装実施</p> <p>エタノール使用量管理</p> <p>用紙使用量 02:35.0, 03:25.0, 04:20.0, 05:15.0 (千枚/億円) 目標 実績</p> <p>環境負荷物質使用量 03:25, 04:20, 05:15, 06:10 (kg/億円) 目標 実績</p>
環境改善	ゼロエミッション化に向けた取り組み	(1)廃棄物の減量化 (2)再資源化率の向上	'08年度の産業廃棄物の廃棄量を7.6トン/年以下 '08年度末迄に再資源化率99%の達成を目指す	産業廃棄物の廃棄量を16.8トン/年以下 '05年度末時点で再資源化率98%以上	10.50トン/年 98.1%	<p>廃棄物の再資源化でファイバー系断熱材のリサイクル化 分別回収で可燃物から紙系の分別精度向上</p> <p>ファイバー系断熱材の分別回収</p> <p>産業廃棄物排出量 02:60.0, 03:40.0, 04:30.0, 05:20.0 (トン/年) 目標 実績</p> <p>再資源化率の推移 03:95.0, 04:95.0, 05:95.0, 06:95.0 (%) 目標 実績</p>
環境法規	法遵守と汚染の予防 化学物質の貯蔵 高圧ガスの貯蔵 危険物の貯蔵 廃棄物の適正処理 緊急事態対応テストの実施	環境法違反件数:0件/年間 環境汚染事故:0件/年間 法定点検/定期点検の実施:実施率100% 緊急事態対応テストの実施:実施率100%	環境法違反件数:0件 環境汚染事故:0件 法定点検/定期点検の実施:実施率100% 緊急事態対応テストの実施:実施率100%	0件 0件 100% 100%	<p>環境関連法の連絡会議の定期実施 法定点検/定期点検の実施確認 貯蔵量の月次点検の実施確認 緊急事態対応テストの実施確認 環境法規教育の実施</p> <p>環境関連法教育風景 緊急事態対応テスト風景</p>	